

医療費を分析すると…

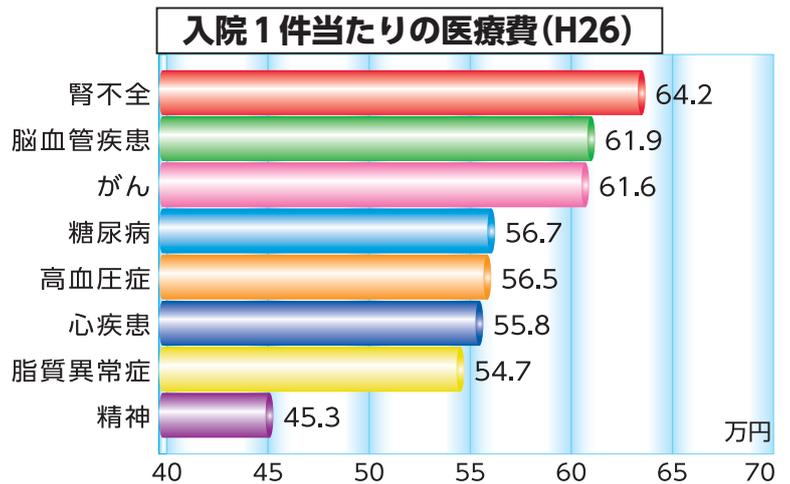
～益城町国保の病気の現状～

みんなで支えあう国民健康保険が今、新たな局面を迎えています。
シリーズ第4回目は、医療費の増加につながる病気について考えてみます。

医療費が高くなる病気は？

病気には、多くの種類があります。その中には医療費が高くなる病気もあります。例えば、人工透析が必要な腎不全や脳出血・脳梗塞など脳血管疾患、がんなどです。このような病気が進行すると、国保が負担する医療費だけでなく、患者本人が負担する経済的負担も非常に大きくなります。

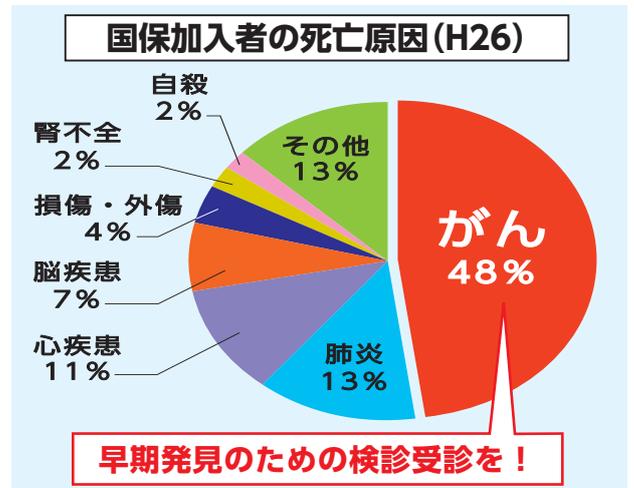
(右図「入院1件当たりの医療費(H26)」参照)



死亡の原因となっている病気は？

国保加入者の死亡原因のうち、最も割合が高かった病気はがんで、全体の48%を占めています。次いで肺炎、心疾患、脳疾患の順となっています。死亡原因の半数近くを占めるがんも、新薬の開発や医療技術の発達で、早期であれば治療できることが多いです。健(検)診の受診などにより、これらの病気をいかに早く見つけ、早く治療に結びつけることができるかが国保にとって重要な課題となっています。

(右図「国保加入者の死亡原因(H26)」参照)



早期発見のための検診受診を!

医療費を適正化するためには？

病気を早く見つけ、症状が軽いうちに治療することが医療費適正化につながります。そのためには、定期的な健診の受診が必要です。

益城町では、国保人間ドックやましき健診、特定健診など豊富な健診メニューを用意していますので、ご自身の健康状態をチェックするためにも、年に一度は健診を受けましょう!

- ◆国保人間ドックの今年度の申し込みは、平成28年1月29日まで。
- ◆ましき健診および特定健診の申し込みは、平成28年4月から。



◎役場健康づくり推進課国保年金係
☎ 286 - 3113